

既ニ御地ニ於ケル Attorney General ノ許ヘ申請シ其指図ヲ待チ居ルノミナリトノコトニ候
右様ノ次第二有之候ヘバ公務御繁忙ノ折柄誠ニ恐縮ニ有之候ヘトモ Attorney General ニ御会見ノ上本社ヘ亜細亜号ヲ至急返還致ス様御尽力仰ギ度此段奉懇願候小生モ種々ノ要件ニテ近々御地ニ出向致度存居候ヘバ其内ニ御拝顔万々御礼申上ルノ機有之コトト存候

先ハ取敢ズ右御報告旁御尽力相仰ギ度如斯御座候 敬具

(二)

第三号亨

墨国々務省外務次官来翰訳文

第一〇六一号 千九百十七年十月十九日

以書翰致啓上候陳者去ル九月二十七日附第五号貴翰ニ関シ漁船亜細亜号ヲ以テ為サレタル密輸出并ニ密獵犯罪事件審理ノ為メ低加州地方裁判所ニ繫属セシ事件ハ同裁判所附聯邦裁判所代表者ガ為シタル論告即チ本件ハ之ヲ受理スベカラザル旨ノ要求ヲ再審スル為メ共和国聯邦裁判所檢事局ニ回付サレ居タル処同局ニ於テハ右ノ論告ヲ是認シ本件ヲ原裁判所ニ返付セル旨今回檢事総長ヨリ通知有之候ニ付本官ハ玆ニ貴下ニ対シ之ヲ通牒スルノ光榮ヲ有シ候
本官ハ玆ニ重ネテ貴下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

註 別紙第二号及右墨国國務省外務次官来翰ノ原文ヲ省略シタリ

事項一二 露国革命前ノ内政關係雜纂

三七三 一月二日 在ベトログラート小田切少將ヨリ
田中參謀次長宛(電報)

露国ノ政情及ラスプーチンノ暗殺ニ関シ報告

ノ件

第一六九号

議會停会ノ原因ハ十二月十九日莫斯科ニ於テ地方会及都市同盟大会ヲ開カントセルニ対シ内務省ハ之ヲ許サズ然ルニ既ニ通牒ヲ發シタルニ依リ開会セントセシモ警察官会場ニ入ルヲ許サザリシ議會ニ於テ之カ質問ヲ為サントシ政府ハ秘密会ニセンコトヲ要求シ左党ハ之ヲ公開セントセシ折宮廷内ニ勢力ヲ有セシ僧官「ラスプーチン」ハ「ユスポブ」公爵ノ邸内ニテ暗殺サレタリトノ説アリシカ一日其屍体ハ「ネバ」河支流ニ於テ発見セラル有力ナル新聞モ彼カ生前ニ於ケル経歴ヲ叙シ前内相フォストフ及現内相プロトポポフノ任免モ彼ノ容喙ニ出ツルコトヲ記セリ今次議會ニ於テ「ミルコフ」及「プリシケウイチ」等ノ有力議員カ彼ノ

弾劾ヲ要求セル以来世間ノ彼ニ対スル注目ハ一層切トナリ遂ニ今次ノ事變ヲ見ルニ至リシナリ、「ミルコフ」モ暗殺セラレントセントノ風説アリ政界ノ現状不穩ナリ

三七四 一月四日 在モスコイ平田総領事代理ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

ラスプーチン暗殺事件ノ人心ニ与ヘタル反響
及其政局ニ及ボス影響ニ関スル件

第一号 (一月六日接受)

ラスプーチン暗殺事件ハ当地人心ニモ非常ノ感動ヲ与ヘ平素穩健ノ態度ヲ失ハサル「ルースキヤ、ウキドモスチ」モ二日ノ社説ニ於テ吾人ハ彼ノ死ニヨリテ我政治界ニ於ケル所謂隠レタル力ノ根源若クハ少クトモソノ有力ナル機關ヲ除去スルヲ得タルモ此ノ如キ人物カ一国ノ政治上ニ大ナル勢力ヲ振ヒタル事実ハ以テ如何ニソノ統治組織ノ紊乱セルカヲ察スルニ足ルモノニシテ速ニ国民ノ信頼ニ価スル新組織ヲ以テ之ニ代フルニ非ザレハ遂ニ亡国ノ非運ヲ見ルノ外

ナカルヘシト痛論シ一般人民モ亦彼ノ死カ保守派及官僚派ニ対スル大打撃タルノミナラス延テ一般戦局ノ推移ニ迄好影響ヲ及ホスモノト解セルカ如ク喜悅ノ(脱)一部ハ戦捷ニ勝ルモノアリ此ノ勢ヲ以テスレハ從來ノ政府反對運動カ為ニ一層ノ氣勢ヲ加フヘキハ論ナク或ハ新ナル改革運動ノ導線ヲナスヤモ計ルヘカラズ

(露都經由第二号大正六年一月五日午後五、二七)

三七五 一月六日

本野外務大臣ヨリ
在露国丸毛臨時代理大使宛(電報)

露国スチュルメル前首相ノ外務省附任命及ラ
スプーチン暗殺ニ関スル政治上ノ動機等探査
報告方訓令ノ件

第一号

最近参謀本部ニ於テ接手セル電報ニヨレハ前首相 Stuermer 氏ハ此程外務省附ニ任命セラレタル趣ノ処該任命ニ関スル政治上ノ動機其他ノ内情御探査ノ上電報アリタク将又 Rasputin ハ十二月三十日 Yusupoff Palace ニ於テ暗殺セラレタル由ノ処右暗殺事件ノ動機竝ニ政治上ノ關係等は又電報アリタシ

三七六 一月八日

在露国丸毛臨時代理大使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

露国前首相「スチュルメル」ノ外務省附任命
及「ラスプーチン」ノ暗殺ノ事情報告ノ件

第二六号

貴電第一一号ニ関シ外務省側ヨリ聞ク所ニ拠レハ「スチュルメル」氏ノ外務省附ニ任命セラレタルハ一般ニ外交官ノ職ヲ去ル場合ノ慣例ニ依リタルモノニシテ別ニ政治上ノ意味ナシ只從來ノ例ハ多ク前大使タリシモノ等ニシテ外務大臣ノ之ニ任命セラレタルハ同氏ヲ嚆矢トス之レ從來ノ外務大臣ハ在官中志望シ直チニ他ノ職ニ任命セラレシタメナリ但シ「サゾノフ」氏ノ之ニ任セラレザリシハ氏ガ「スチュルメル」氏ニ之ヲ請願スルヲ屑トセザリシニ依リ(外務省附タルハ本人ノ請願ニ基キ任命セラルルモノナリ)最近世間ニ於テハ「スチュルメル」ノ外務省附ト為レルヲ以テ平和談判ノ地盤ヲ作ル為メ大使トシテ馬德里ニ赴任スル準備ナリト云フモノアルモ当ラズ大使タランガ為メ席ヲ外務省ニ置クノ必要ナシトノコトナリ其筋ニ於テハ既ニ非公式ニ該風説ヲ否認セリ

又「ラスプーチン」ハ近年皇后陛下ヲ経テ内治事項ニ容喙シ大臣ノ任命ノ如キニモ干与シ一種暗黒裡ノ勢力タリシヲ以テ之ヲ憤慨セルモノ尠カラス旧冬上下両院ノ問題トナリ両院ニ於テ斯克ノ如キ勢力ヲ一掃スルコトノ必要ヲ決議シタルコト等ハ今回ノ暗殺事件ノ動機タルモノナリ暗殺ハ「ユースポフ」公(同公夫人ハ「アレキザンドル、ミハイロウキツチ」親王ノ王女ナリ)ノ邸ニ於テ夜会ノ際行ハレ現場ニハ同公ノ外「ミハイル、ミハイロウキツチ」親王、「ドミトリ、パウロウキツチ」親王、下院議員「ブルシケウキツチ」等在リテ第一ノ狙撃ハ「ドミトリ、パウロウキツチ」親王ニシテ「ブルシケウキツチ」ハ主謀者ナリト称セラル同人ノ謀殺ハ一般ニ世人ノ喜ブ所タルノミナラズ關係者中六皇族アルヲ以テ本件ハ訴追セラレザルベシト云フ

三七七 一月十日

在露国丸毛臨時代理大使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

露国首相更迭ニ付報告ノ件

第三号

昨九日附ヲ以テ総理兼交通大臣「トレポフ」氏ハ依願其職ヲ免セラレ上院勅選議員「ゴリイチン」公総理大臣ニ任セ

ラレタリ公ハ皇后陛下ヲ總裁トスル軍人援護委員會議長ニシテ新聞ノ所報ニ依レハ同公ハ「スチュルメル」氏ノ友人ニシテ現内務大臣「プロトポポフ」氏ト同一政見ヲ有ス又現閣員中議會ノ信任ヲ有スル唯一ノ人ト称セラルル文部大臣「イグナチエフ」伯依願其職ヲ免セラレ元老院「クリチツキー」氏其後任ト成レリ又一昨八日附ヲ以テ外務次官「ネラトフ」氏上院議員ニ任セラレタリ

三七八 一月十日

在ベトログラード小田切少将ヨリ
田中参謀次長宛(電報)

電国首相ノ更迭等報告ノ件

第四号

(一月十二日接受)

露国内閣議長「トレポフ」ハ免セラレ「ゴリイチン」之ニ就キ又文相「イグナチエフ」ハ去リ「クリチツキー」之ニ代ル、「クリチツキー」ハ「スチュルメル」ト共ニ民間事業ヲ圧迫シ世界ノ注目ヲ引キシ事アリ上院議員中彼ハ沈黙ヲ以テ有名ナリ、「ゴリイチン」ハ医(?)学界ノ出身ニシテ「カッソー」ノ文相時代用ヒラレシコトアリ今回ノ新任命ハ一般ニ政界ノ前途ニ重要ナル変化ヲ期待セシメス依然官僚的色彩ノ継続ト認メラレアリ但シ戦争継続ニ関シテ

ハ新首相モ其ノ決心ヲ公示セリ、内閣ノ更迭ハ尚之ニテ終結セサル可キヲ觀察スル者アリ、

独逸皇帝ハ軍隊ニ勅ヲ發シテ平和提議ノ連合國ニ容レラレサリシコトヲ布告シ今後戦争ノ責任ハ全然連合國ニ歸スヘク陸海軍ハ從來ノ如ク頑強ナル戦闘行動ヲ以テ敵ヲ屈伏セシムルヲ要スト宣セリ、

言論界ニ独逸カ瑞西ノ中立ヲ犯シ仏國ニ進入ノ計画アルヲ伝フ、

三七九 一月十一日 在仏國松井大使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

露国今次政変ニ付仏国外務省当局ハ憂慮シ居

ル旨内話ノ件

第一一號

一月十一日「マルジュリ」氏ハ本使ノ問ニ対シ希臘ハ我要求ヲ容レタルモ一モ之ヲ実行セザルニ付尚ホ安心ハ成リ難シ併シ希臘ヨリモ露国内ノ變動ノ方痛心ニ堪ヘズ政変ハ一面ニハ前内閣ト議會トノ折合甚タ悪シキニ因ルモ一面前首相ハ皇后陛下ノ寛宜シカラザリシガ新首相「ガリジン」ハ同陛下ヲ围绕スル親独(不明)等ト聯絡アルモノノ如ク

此後ノ事ハ憂慮ニ堪ヘズト極メテ心配ノ模様ニテ内話セリ英、伊、露ヘ転電セリ

三八〇 一月十三日 本野外務大臣ヨリ
在露國丸毛臨時代理大使宛(電報)

露国首相更迭ノ内情ニ付在露英國大使二問合

セ方訓令ノ件

第二五號

松井大使ヨリ貴官ヘ転電ノ同大使發本大臣宛第一一號電信ニ関シ在露英國大使ニ於テ露国首相更迭ニ付何カ特ニ聞キ込ミ居ルコトナキヤ同大使ヲ往訪シ本大臣ノ名ニテ問合ノ上結果電報アリタシ

三八一 一月十六日 在露國丸毛臨時代理大使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

露国ノ政情、内閣更迭ノ事情等ニ関スル在露

英仏兩國大使ノ内話報告ノ件

第五一號

一月十五日英國大使ヲ往訪貴電第二五號ノ趣申入レタル処同大使ハ極秘トシテ語レル所左ノ通
本使ノ所見ニ依レハ露國皇帝戦争継続ノ決心ハ何等變化ナ

キモ目下ノ如ク政府ニ於テ聊カモ民心ノ趨向ヲ顧慮セス議會トノ衝突絶エサルノ有様ナルニ於テハ終ニハ国内ニ騷擾ヲ醸起シ戦争ニ重大ナル影響ヲモ及ホスヘキ虞アリト信スルニヨリ過日日本國政府ニ対シ何等カ英國皇帝陛下ノ使命ヲ奉シ露國皇帝ニ謁見ノ上卑見ヲ披瀝シ聖鑑ヲ仰カンコトヲ稟請シタルモ本國政府ハ他國ノ内政ニ容喙スルハ面白カラサル結果ヲ生スルコトアラントテ之ヲ却下セリ然レトモ本使ハ露國ノ現状看過スヘカラサルヲ以テ再応本國政府ニ其ノ考量ヲ請ヒタルニ本國政府ヨリハ単ニ露國現下ノ国情ハ英國皇帝ニ於テ憂慮セラルル所ナリト言上スヘク其他ハ一ニ本使ノ裁量ニ委スヘキモ露國皇帝ノ感情ニ慎重ノ注意ヲ払フヘキ旨訓令アリタルヲ以テ一月十二日拜謁ノ上現時英國ニ於テハ軍国内閣組織セラレ一般國民ノ支持ヲ得テ挙國一致ノ有様ナルニ露國ニ在リテハ人民政府ヲ信任セス閣員中議會ノ指彈ヲ受クルモノアルノミナラス閣員ニシテ首相ト意見ヲ同ウセサルモノアル如ク斯ノ如クニシテ進マンカ国内ニ騷乱ヲ生シ或ハ暗殺ノ続行セラルルニ至ランハ必然ノ勢ナルヘク併カモ其暗殺ノ那辺迄及フヘキヤハ予メ之ヲ想像シ得ラレサルモノアリテ同大使ハ皇后陛下ノ御身上ヲ

モ意味セル積ナリシト語レリ併シ目下ノ戦争ニ勝利ヲ収メシニハ単ニ協商諸國(脱)ノ協同ノミナラス各国内ニ於テモ政府ト人民ノ一致スルコト絶対ニ必要ナルヲ以テ陛下願クハ意ヲ玆ニ用キラレ人民ニ信望アルモノヲ挙ケテ内閣ヲ組織セシメ統一ト敏活ヲ以テ國事ヲ処理セシメ以テ國政ヲ革新センコト最急務ナリト信スル旨言上セルニ陛下御機嫌麗シカラス既ニ同進言中再度迄本使ノ辭ヲ遮ラレタルモ本使ハ尚語ヲ続ケ斯ノ如クムハ終ニハ陛下及露國皇室ノ行末モ痛心ニ堪ヘスト申上ケタルニ陛下ハ右進言ニ対シ何等仰セラルル所ナク最後ニ只一言「メルシー」ト御言葉アリタリ又同大使ハ本官ノ問ニ答ヘ露國皇后ハ親独派ナリトハ信セサルモ独裁政治ヲ其ノ子孫ニ伝ヘラレタキ御意向ナルヲ以テ政府カ人民ニ対シ讓歩ノ態度ヲ採ルヲ好マセラレス從テ同意見ノ大臣ヲ選任スル様陛下ニ助言アラセラルルハアリ得ヘキコトナリ而シテ隱密暗黒裡ノ人アリテ右独裁主義ヲ皇后ニ進言シ皇后ヨリ陛下ヘ之ヲ慫慂在ラセラルル結果ハ自ラ独逸ノ利益タルコトヲ生スルコトモアリ得ヘシト述ヘ更ニ前首相「トレポフ」氏ノ辭職ニ付テ同人ハ保守党ニ屬シ勢力家ニシテ議會トノ融和ヲ保持シツツアリタルモ其

政策ハ陛下ノ容ルル所トナラスシテ斥ケラレタルニ因ルヘク新首相ノ就職ハ畢竟陛下カ民心ノ趨向ニ関スル一ノdefinitiveト看做スヘク從テ現外相「バクロヴスキー」氏ノ位地モ余リ鞏固ナラス若シ同氏ニシテ其職ヲ去ルニ於テハ「ネラトフ」氏モ亦辭職スヘシトノ意見ヲ附言セリ之ヲ要スルニ英國大使ノ意見ニテハ露国皇帝ニ於テ戰爭ヲ繼續スルノ決心ニ変化ナキハ之ヲ信スルモ国内事變ノ結果トシテ之ヲ變更スルノ虞アリトナスモノノ如シ

尚一月十五日仏国大使ノ時局ニ関シ本官ニ語レル要領左ノ通

本使ハ数日前露国皇帝ニ謁見ノ上羅馬尼方面ノ戰況甚タ振ハサルヲ以テ露国側ヨリ一層ノ力ヲ添ヘラレタキ旨言上シタルニ陛下ハ輸送困難ノ為意ノ如クナサルヲ遺憾トスレトモ尚精々増兵ヲ努ムヘキ趣御言葉アリタリ本使ノ所見ニ依レハ皇帝戰爭繼續ノ決心ハ何等變化ナク又何人モ之ヲ動カシ得サルモノナルコトヲ断言シ得ヘシ世上皇后ニ付テ論議スル者アルモ露国皇后ハ英國的教育ヲ受ケサセラレタル人ニシテ独逸ノ感化ヲ受ケサセラレタリトハ思ハス殊ニ外交上ニ皇帝ヲ動かカスガ如キコトハ之ナシト信ス現ニ「サゾ

ノフ」氏ガ外相ノ地位ヨリ黜ケラレタルハ皇后ノ慫慂ニ基クト云フ者アルモ本使ハ皇后ガ之ニ反対セラレタルコトノ後ニ至リテ判明セル事實ヲ知り居レリ「ラスプーチン」ノ如キハ斗筭ノ小人ニシテ政治上何ノ知識モナク彼ニ関スル世評ハ其ノ実ニ過キタルモノアリ然レトモ彼ノ暗殺ハ其ノ行動ヲ有害ナリト認ムルモノアリテ之ヲ為シタルモノナルヲ以テ之ヲ称スルニ政治上ノ暗殺ト云フハ或ハ当レリト云フヘシ又近頃独逸ハ条件ヲ具シテ露国ニ单独講和ヲ申込メリト云フ者アルモ本使ハ之ヲ信セス要スルニ最近露国政界ニ於ケル動搖ハ内政上ノコトニシテ外交上ハ何等影響ヲ受クル所ナシ因ミニ同大使ノ言ニ拠レハ目下羅馬尼方面ニ活動シツツアル露軍ハ歩兵三十個師団及騎兵十二個師団位ナリト云フ

三八二 一月二十日 在ベトログラード小田切少將ヨリ
田中參謀次長宛(電報)

露国議會停会、露国前陸相辭任事情等報告ノ件

露国議會ハ来ル二十五日迄停会中ナリシカ更ニ二十七日迄停会セラル前陸軍大臣ノ辭職ハ軍需品調達上地主会及ヒ全

国都市同盟会ノ援助ヲ利用シ議會ノ左党ト接近シ議會ノ氣向ケ良カリシニ依ルモノノ如シ外務大臣及大藏大臣モ辭職セントスル說喧伝ス

三八三 一月二十一日 在ベトログラード小田切少將ヨリ
田中參謀次長宛(電報)

露国皇帝ニ対スル怨嗟人民及軍隊ノ間ニ高マリ情勢險惡ナル旨報告ノ件

石坂少將ヨリ
一、更ニ探聞スル所ニ依レハ本月末露都ニ於ケル協商国会議ノ真目的ハ協商諸国カ露独单独講和ノ予防線トスルモノノ如シ

二、「ラスプーチン」殺害事件ハ秘密ニ処置セラレツツ有ルモ主謀者ト目セラレタル皇族一名波斯方面ニ逐ハレ又「ラスプーチン」埋葬等ニ関シテ過分ノ待遇ヲ与フル為メ皇帝ヲモ皇后同様親独主義ナラサルヤヲ疑ヒ「ロマノフ」家ニ対スル怨嗟ノ声ハ独リ露西亜内部ノミナラス軍隊間ニモ高マリ来レリ今ヤ国民ハ近ク開会セラルヘキ議會会ニ対スル皇帝ノ態度ニ一縷ノ望ヲ有シツツ有ルモ露国方面ニ於ケル一般ノ状態益險惡ヲ加ヘツツ有リ昨十八日

迄ニハ大本營ニ歸来ノ予定ナリシ皇帝ハ少クモ本月中ハ「ツアルスコエセロ」ニ滞在セラルルコトナリ戰地ニ在リシ近衛騎兵師団ヲ露都ニ召還スルコトナリシハ頗ル重大ナル意味ヲ有スルモノト考フ

三八四 一月二十三日 在英國珍田大使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

英國「ミルナー」大臣ノ内密訪露ハ露国ノ混沌タル政局ノ真相ヲ探ル為メト思ハル旨報告ノ件

第二五号 極秘 (一月二十五日接受)
極メテ内密ニ聞込ミタル所ニ拠レハ「ミルナー」大臣ハ外務省露国及東歐問題主任者(不明) Clarke ヲ随ヘ一月二十日出発露国ヘ密行セリ露国昨今ノ政局混沌依テ親シク其真相ヲ突止メ今後ノ戰局發展上如何ナル程度迄露国ヲ当テニシ得ルヤ將又露国ヲシテ一層真面目ニ戰闘ニ努力セシムルノ方法如何ニ付大体ノ見當ヲ定ムルコト其ノ重ナル目的ナルヘク同大臣ハ約一ヶ月内ニハ歸英スヘシト云フ

三八五 二月二日 在露国九毛臨時代理大使ヨリ
本野外務大臣宛

露国政況内情報告ノ件

附屬書 右調査報告書(第十)

機密第五号

(二月二十日接受)

大正六年二月二日

在露臨時代理大使 丸 毛 直 利(印)

外務大臣子爵 本野一郎殿

露国政況内情ノ件

露国政況内情ノ現状ニ関スル調査報告書別紙ノ通差進候

敬具

(附屬書)

露国政況内情(第十)

- 一、政府ト議會トノ衝突
- 二、総理大臣「トレポフ」氏ノ辭職
- 三、「ゴリツイン」新内閣
- 四、上院議長副議長及勅選議員ノ更選
- 五、曖昧暗黒無責任ノ勢力
- 六、「ラスプーチン」
- 七、欧洲戦争ト露国々民
- 一、政府ト議會トノ衝突

政府ト議會トノ衝突カ露國ニ於テ實現スルニ至リシハ露軍カ「カルパート」ニ於テ敗戦シタル以後ノコトニシテ爾來議會ト政府トハ特ニ互ニ相反目スルコトナリタリ抑モ之カ反目ノ原因ハ種々ニシテ國務大臣カ國民ノ信任ヲ有セサルコトモ亦其一ナリト雖モ之カ重ナル原因ハ政府ト議會トカ内政問題ニ關シテ互ニ其意見ヲ異ニスルコトニ外ナラス今回ノ歐洲戦争ハ露國ニ於テハ英佛諸国ニ於ケルト同シク所謂全國民的ニシテ社會民主党ノ一二議員ヲ除ク外表面ニ於テハ未タ何人モ堂々ト之ニ反對スル者無ク從ツテ露國カ敵ニ對シ最後ノ勝利ヲ制スルマテ戦争ヲ繼續スルコトニ就テハ朝野ニ異議無シト雖之ヲ繼續スルノ手段方法ニ關スル根本問題ニ就キテハ議會ハ政府ト其意見ヲ異ニセリ現ニ議會ハ露國カ強敵ニ對シテ勝利ヲ制セントスルニハ先ツ第一ニ内政ヲ改革シテ國民ノ信任アル者ヲ内閣ニ入レ而シテ官民上下舉國一致ノ實ヲ見ルニ至ラシメテ以テ戦争ヲ繼續スルヲ要スト主張スルニ反シ政府ハ戦争中複雑ナル内政改革問題ニ触ルルハ危險トシ又國務大臣ハ單ニ皇帝ニ對シ責任ヲ負フモノナルヲ以テ露國ニ責任内閣ヲ組織スルコトハ憲法ノ規定ニ戾ルモノニシテ國民ハ單ニ専ラ義務トシテ戦争

ヲ繼續スルヲ要ストセリ

斯ノ如ク政府ハ戦争中ハ内政改革ヲ不可ナリトスト雖モ内政改革ハ國民一般ノ要求ニシテ而モ之カ改革ハ實際或程度マテハ戦争ヲ繼續スル爲メニ必要ナリトノコトハ露國ノ輿論ナルヲ以テ政府ハ議會ノ反對ヲ恐レ是レマテ議會ニ向ツテ既ニ再々改革ヲ行フヘキヲ約シタリ現ニ前二總理大臣「ゴレムイキン」及「スチュルメル」両氏ハ内政改革ヲ行フコトニ関シ略ホ同一ノ聲言ヲナシタリ然モ其聲言ハ元ト已ムヲ得スシテ其意ニ反シテ出テタルモノナルヲ以テ遂ニ實行セラルルコト無カリキ此間辭職シタル「トレポフ」總理ノ議會ニ於ケル聲言モ亦右二前總理ノ聲言ト大同小異ナリシカ議會ハ此聲言ヲ以テ信ヲ措クニ足ラサルモノナリトシテ「トレポフ」内閣ノ政策ニ反對シタリ議會ハ殊ニ「プロトポポフ」氏ノ如キ曖昧ナル人カ内務大臣トシテ内閣ニ在ルコトハ議會ト政府トノ提携ヲ不可能ナラシムルモノナルヲ以テ「トレポフ」總理ニシテ眞ニ誠意誠心議會ト提携セント欲セハ少クトモ第一ニ「プロトポポフ」氏外一二大臣ヲ内閣ヨリ斥クルヲ要ストノ意ヲ明カニシタリ右ノ如ク議會ハ「トレポフ」内閣ニ對シテ自己ノ態度ヲ明

カニシテ要求スル所アリタルニ拘ラス「プロトポポフ」氏ハ容易ニ其職ヲ去ラスシテ「トレポフ」内閣ノ閣員間ニ何等ノ異動無ク加フルニ政府ハ民意ヲ容レテ改革ヲ行フノ意ヲ示サスシテ反對ニ民意ヲ斥クルノ措置ニ出テタリ故ヲ以テ國民ハ大ニ激昂シ其結果全露地地方代表者及全露市代表者ハ政府ノ許可ヲ俟タスシテ「モスクワ」市ニ於テ各々會議ヲ開キテ政府反對的ノ大決議案ヲ可決スルニ至レリ同決議案ハ政府之ヲ世ニ公ケニスルコトヲ嚴禁シタルヲ以テ其内容ヲ詳カニスルヲ得スト雖モ頗ル過激ナル文句ヲ以テ一般ニ政府ヲ攻撃シ特ニ暗黒曖昧無責任ノ勢力一掃ノ必要急務ヲ唱道シタルモノナリト云フ同會議ハ何レモ間モ無ク政府ヨリ閉鎖ヲ強制セラレタルヲ以テ右決議案ハ忽卒ノ間ニ可決セラレタルモノナリト云フ

「モスクワ」會議ノ閉鎖ハ其後下院ノ問題トナリタリ舊臘十二月二十六日同院ニ於テ社會民主党ハ本問題ニ關シ政府ニ質問案ヲ提出シ而シテ同院ノ多數党ハ提出ノ趣旨ニ賛成シ茲ニ於テ同日同案ハ議事日程ニ上ルコトトナリタリ然ルニ内務省ハ陸軍省ト協議ノ上本案ノ議事ヲ秘密會議トスヘキヲ議長ニ要求シ來リタルヲ以テ議長ハ傍聽人ニ退場ヲ命

シテ議事ヲ秘密會議トシタリ然ルニ同案ノ提出者タル社會民主党ハ質問案ヲ秘密會議ニテ議スルヲ欲セスシテ之ヲ撤回シタリ之カ爲メ秘密會議ハ中止トナリテ同日議會ハ更ニ公開トナルニ至レリ玆ニ於テ今度ハ更ニ立憲民主党ハ政府カ一般ニ全露地方代表者聯合會議及全露市代表者會議ニ對シテ圧迫ヲ加フルコトニ關シ政府ニ説明ヲ求ムルノ問題ヲ十二月二十八日ノ議事日程ニ上スヘシトノ動議ヲ出シ而シテ議會ハ此動議ニ賛成シタリ乍併内務省ハ更ニ書面ヲ以テ議長ニ通知スルニ政府ハ同日日本問題ニ關シ議會ニ説明ヲ與フルヲ得ストノコトヲ以テシタリ要スルニ政府ト議會トノ衝突ハ緊張シ來リタルヲ以テ政府ハ年始年末ノ定期休會ノ期近キニ在ルヲ幸トシ十二月二十八日附勅令ヲ以テ同日ヨリ翌年一月二十五日マテ上下兩院ニ休會ヲ命シ以テ衝突ノ破裂ヲ未發前ニ當分防止スルニ至レリ

斯ノ如ク議會ハ毎年々末ニ休會トナルノ慣例ナルニ拘ラス議會カ今回ハ例年ヨリモ早く而モ突然ニ休會トナリシコトハ上下兩院議員ニ對シテハ勿論又閣員ノ一部ニ對シテモ意外ナリシト云フ現ニ議員中ニハ同日議場ニ出頭シテ議會カ休會トナリシコトヲ始メテ知りタル者少カラスト云フ抑モ

テ満足ヲ與フヘキモノナリヤ否ヤハ疑問ナリシト雖モ兎モ角モ氏カ此際多少讓歩ヲ已ムヲ得サルコトトシタルコトハ明白ナル事實タリ故ヲ以テ氏ハ議會ト提携ノ必要上議會カ蛇蝎視スル内務大臣「プロトポポフ」氏カ其職ヲ去ルコトヲ希望シタリト云フモ「プロトポポフ」氏ハ頑トシテ之ヲ欲セサリシナリ

是レヨリ先キ議會カ「プロトポポフ」氏ニ辭職ヲ促スヤ氏ハ間モ無ク大本營ニ參内シ皇帝陛下及當時大本營ニ在マサレタル皇后陛下ニ拜謁シテ帰京シタリ「プロトポポフ」氏ハ其日ヨリ病氣ト稱シテ官邸ニ引籠リ閣議ニ列セサリシヲ以テ當時世間ニテハ氏ハ辭職スルコトニ決シタリト稱セラレタリ然ルニ豈圖ランヤ辭職スルコトニ定マリタリト稱セラレタル氏ノ位置ハ堅固トナリ本年一月二日皇帝ハ氏ヲ正式ニ内務大臣ニ任セリ

露國ニ於テハ慣例トシテ三等官以下ノ者カ初メテ大臣ニ任セララル場合ニハ之ヲ直ニ大臣ト稱セスシテ暫時大臣事務取扱トシテ一定時日ヲ經テ其者ヲ正式ニ大臣ニ任スルヲ常トス然レトモ事務取扱ハ其實即チ大臣ニ外ナラサルヲ以テ右「プロトポポフ」氏ノ正式任命ハ普通ナレハ何等ノ意味

議會休會ノ勅令カ斯克モ今回例年ヨリ早く出テテ而モ閣員間ニ於テサヘモ休會命令ノ下ルコトヲ其日マテ知ラサリシ者アリシ所以ハ畢竟閣員間ニ議會ニ讓歩スヘシトノ說者ト讓歩スヘカラストノ說者換言スレハ内務大臣「プロトポポフ」氏ノ辭職ヲ希望スル者ト同氏ノ辭職ヲ欲セサル者トノ二者アリテ而モ後者カ前者ニ對シ勝利ヲ制シタルカ爲メニ外ナラス總理大臣「トレポフ」氏ハ右兩說者中前者ニ屬スル人ナリシヲ以テ議會休會ノ勅令ハ裁可ノ日マテ總理ニハ詳カナラサリシト云フ

二、總理大臣「トレポフ」氏ノ辭職

「トレポフ」内閣ノ閣員ハ前二内閣ノ閣員ト同シク皆保守主義ノ人ナリト雖モ世間ノ風説ヲ以テ眞ナリトセハ此閣員中ニハ所謂暗黒曖昧無責任ノ勢力ノ支持ヲ得テ其職ニ就キタル者ト否ラサル者トノ二アリ「トレポフ」總理ハ「スチユルメル」前總理ト異リ直接ニ暗黒曖昧無責任ノ勢力ノ支持ヲ得テ其職ニ就キタル人ニアラスト稱セラルルヲ以テ氏ハ事實或點マテハ議會ニ讓歩シテ議會ト提携スルヲ欲シタルノミナラス氏自身モ亦右勢力ノ跋扈ヲ憤慨スル人士中ノ一人ナリト稱セラル然レトモ氏ノ讓歩カ議會多數黨ニ果シ

ヲ有セサルモ辭職ヲ促サレタル「プロトポポフ」氏カ今度正式ニ大臣ニ任セラレタルコトハ時節柄大ニ意味アリテ此事ヤ氏カ其職ヲ去ラザルコトヲ確證シタルモノニ外ナラス斯ノ如ク「プロトポポフ」氏ハ其職ヲ辭セサルコトニ決シタルヲ以テ曩ニ同氏ニ辭職ヲ促スノ意味ヲ以テ自ラ其職ヲ辭スルノ意ヲ漏ラシタル總理大臣「トレポフ」氏ハ断然其職ヲ辭スルコトニ決シテ辭表ヲ呈出シ又「トレポフ」氏ト本件ニ關シ其意見ヲ同フスル文部大臣「イグナチエフ」伯モ亦辭表ヲ呈出シタルモ皇帝ハ其時ニハ兩大臣ノ辭職ヲ嘉納セラレサリシト云フ然ルニ皇帝ハ本年一月二十七日附辭令ヲ以テ俄然總理兼交通大臣「トレポフ」氏及文部大臣「イグナチエフ」伯ニ其職ヲ免シテ其代リトシテ上院勅選議員「ゴリツイン」公ヲ總理大臣ニ任シ而シテ元老院議員「クリチツキー」氏ヲ文部大臣ニ任シタリ

三、「ゴリツイン」内閣

新總理大臣「ゴリツイン」公ハ上院勅選議員ニシテ皇后陛下ヲ總裁ニ奉ル俘虜軍人後援委員會ノ會長トス公ハ千八百五十年ニ生レ千八百七十一年歴山貴族學校ヲ卒ヘテ内務省ニ奉職シ千八百七十九年「アルハンゲリスク」其他一二県

ノ副知事トシテ地方ニ在勤シ千八百八十四年本省在勤トナリ千八百九十五年ヨリ千九百三年マテ県知事トシテ「アルハンゲリスク」外二県ニ在勤シ千九百三年元老院議員トナリテ千九百十五年即チ歐洲戰爭開始後上院勅選議員トナリテ以テ今日ニ至レリ公ハ是レマテ左程世間ニ名ノ出テサリシ人ニシテ公ノ任命ハ世人ノ意外トシタル所タリ公ハ上院ニ於テハ「ゴレムイキン」及「スチュルメル」二前總理ト同シク同院右黨ニ属シ特ニ皇后陛下ノ御信任ヲ得テ而モ内務大臣「プロトポポフ」氏ト其政見ヲ同フスト云フ公ヲシテ總理大臣タラシムルニ至リタル動機ハ内務大臣「プロトポポフ」氏カ内政問題特ニ「ラスプーチン」事件ノ發展ニ関シ其筋ニ上奏シテ政府カ今日濫リニ議會ニ對シテ讓歩的ノ態度ニ出ツルハ現制度并ニ皇室ノ爲メ危險ナリトノ意見ヲ上リタルコトニ在リト稱セラル

總理大臣ノ更迭アルマテハ政府カ議會ニ對シテ讓歩スヘキヤ將又非讓歩ノ態度ニ出ツヘキヤ明白ナラサリシモ此更迭ニテ政府カ非讓歩ノ態度ニ出ツルコト判然スルニ至レリ故ヲ以テ總理大臣更迭トナルヤ前總理「トレポフ」氏ト同シク讓歩説ヲ有シタル閣員ハ續々其職ヲ去リ今ヤ文部大臣ノ

モ事實上ノ總理大臣ナリト稱セラル尤モ同氏ト其意見ヲ一ニスル司法大臣「ドブロウオリスキー」氏ハ特ニ勅命ヲ以テ總理大臣不在又ハ病氣ノ場合ニ閣議ニ於テ總理大臣ヲ代理スヘキヲ命セラレ居レリト雖之ハ表面ノコトニ止マリ實際ハ「プロトポポフ」氏カ總理ノ實務ヲ掌リツツアリトノ説アリ「ゴリツイン」公ハ皇后陛下ノ信任ヲ有スト云フト雖モ公カ總理トナリシハ内務大臣「プロトポポフ」氏ノ推薦ニ依ルトノ説ヲナス者アリ

「ゴリツイン」内閣ニ於テ内務大臣「プロトポポフ」氏ト全然其意見ヲ同ウスト稱セラルル人士ハ總理大臣「ゴリツイン」公ノ外新司法大臣、「ドブロウオリスキー」宗務大臣「ラエフ」、文部大臣「クリチツキー」諸氏ニシテ又農務大臣「リヒテル」、交通大臣「クリーゲル」、會計検査院長「フェラドシク」諸氏及陸軍大臣「ベリヤーエフ」將軍モ「プロトポポフ」氏ト意見ヲ同フスト云フ大蔵大臣「バルク」氏、商工大臣「シャハウスコイ」公及海軍大臣「グリゴロウウィッチ」提督等ノコトニ關シテハ世間ニ諸説紛々ニシテ多數人ノ説ニ依レハ「バルク」氏ハ其出所ヨリ云ヘハ寧ロ「プロトポポフ」氏側ノ人ニシテ又「シャハウスコイ」

ノ外ニ陸軍大臣「シュワーエフ」將軍モ亦其職ヲ辭シテ「ベリヤーエフ」將軍ハ陸軍大臣ニ任セラレタリ尚此外ニ前總理大臣ト其意見ヲ同フシテ讓歩説ニ左袒シタル一二大臣アリト雖モ昨今ノ内外關係上此等人士ハ未タ其職ヲ辭スルニ至ラス然レトモ此等大臣ハ早晚遠カラス其職ヲ去ルニ至ルヘシト稱セラル若シ此等人士カ愈々辭職スルニ至レハ跡ニ殘レル大臣ハ皆内務大臣「プロトポポフ」氏ト同一ノ意見ヲ有シテ議會ニ對シ非讓歩説ヲ抱クノ人士ナリト云フ内務大臣「プロトポポフ」氏ハ前總理大臣「トレポフ」氏カ議會ニ於テ政府施政方針宣言演説ヲ為シタル際ニ下院ニ於テ大々的人身攻撃ヲ受ケタル以來久シク引籠リ公ケニ執務セシテ「トレポフ」總理カ其職ヲ去ルマテ新司法大臣「ドブロウオリスキー」氏ト共ニ遂ニ一度モ閣議ニ列セサリシカ今度總理大臣更迭シテ一月十三日新總理「ゴリツイン」公カ就職後第一回ノ閣議ヲ開クニ至ルヤ「プロトポポフ」氏ハ「ドブロウオリスキー」氏ト共ニ閣議ニ列シテ翌十四日ヨリ公ケニ執務スルコトトナリタリ「プロトポポフ」氏ハ前内閣ニ於テハ閣員ノ多數ヨリ指彈セラレタル人ナリシモ現「ゴリツイン」内閣ニ於テハ其大立者ニシテ而

公及「グリゴロウウィッチ」提督ニハ別段ニ特ニ意見無シト云フ外務大臣「ボクロフスキー」氏ハ内務大臣「プロトポポフ」氏ト元ト其意見ヲ異ニスト稱セラルルモ外務大臣ノ更迭ハ英佛同盟軍國ニ直接又ハ間接ニ多少ノ影響ヲ及ホスモノナルヲ以テ其更迭カ朝三暮四ナルコトハ第一外ニ向ツテ不都合ナルニ加ヘ議會ト政府トノ衝突ハ未タ一掃セラレスシテ今後如何ニ發展スヘキヤ明白ナラサルヲ以テ外務大臣「ボクロフスキー」氏ハ兎モ角モ當分其假職ニ留ルヘシト云フ要スルニ「ゴリツイン」内閣ハ將來ハ別問題トシテ少クトモ現在ニ於テハ議會ニ讓歩スルヲ欲セサル大臣ヨリ成リテ而モ議會ヨリ排斥ヲ受ケタル内務大臣「プロトポポフ」氏カ隱然内閣ノ牛耳ヲ執リツツアリト云フ以上ハ議會カ予定ノ期日ニ開ケタリシトセハ議會ト政府トノ衝突ハ直ニ破裂シタルナルヘシ

「トレポフ」前内閣ハ實際議會ト衝突シタリト雖若シ内務大臣「プロトポポフ」氏カ其職ヲ去リテ而モ政府カ此外ニ議會ニ對シ多少ノ讓歩ニ出テタリトセハ其衝突ハ或ハ啻ニ直チニ破裂スルコト無キノミナラス又場合ニ依リテハ政府ト議會トノ間ニ一時的ノ妥協成リタリシヤモ計リ難カリシ

ナルヘシ然レトモ新「ゴリツイン」内閣ニハ如上「プロトポポフ」氏カ内閣ノ大立者ナルニ加ヘ「ゴリツイン」公ハ戰時中ハ如何ナル改革モ不可ニシテ單ニ戰爭ノ一事アルノミトノ意見ヲ有スルノ人ナリト云フヲ以テ予定ノ通りニ一月二十六日ニ議會開カレタリシ場合ニハ議會ハ必ス政府ニ對シ強硬ノ反對ニ出テテ遂ニハ政府ハ直ニ議會ヲ解散シタルヤモ知レサリシナリ此故ニ世人ハ皆一月二十六日ノ議會開會ノ結果如何ニ注意シ居リシカ一月十七日政府ハ勅令ヲ以テ議會休會期間ヲ延長シテ二月二十七日ニ議會ヲ開クヘキヲ命セリ休會期間延期ノ理由ハ政府カ非公式ニ聲明シタル所ニ依レハ内閣更迭ニ付キ新内閣ハ政府カ議會ニ提出シテ議セシムヘキ法案ヲ更ニ一應審議スルノ必要アルカ爲メナリトアリ然レトモ其實一月二十六日ニ議會開會セラルルニ至レハ議會ト政府トノ衝突カ一大破裂ヲ來スコトカ既ニ明白ナリシカ爲メニ外ナラスト云フ

來ル二月二十七日ニ開カルヘキ議會ニ對シ政府ハ如何ナル態度ニ出ツヘキヤハ未タ之ヲ詳カニスルヲ得スト雖モ一月二十一日總理大臣「ゴリツイン」公ニ下リタル詔勅ニ依レハ皇帝ハ朕ハ内閣ノ事業ハ露國カ最後ノ勝利ヲ制スルマテ

ルノ政策ニ出ツヘシトノ說アリ

四、上院議長、副議長及勅選議員ノ更選

上院議員ハ勅選ト民選トノ二種アリテ就中勅選議員ハ毎年上院ノ議事ニ出席スル者ト出席セサル者トノ別アリ殊ニ毎年議事ニ出席スル勅選議員ノ數ハ民選委員ノ數ヲ超過スルヲ得サルノ制ナリ同院議長、副議長及同院ノ議事ニ出席スル議員ハ勅選議員ノ内ヨリ毎年一月一日ニ皇帝之ヲ更選スルノ慣例ナルモ此更選殊ニ議長及副議長ノ任命ハ殆ント形式的ニ過キスシテ議長及副議長ハ毎年再任セラルルヲ常トセリ然ルニ今度再選セラレテ議員トナリタル人ハ敦レモ同院右黨ニ屬スル人士ニシテ又本年出席議員タルコトヲ罷メラレタル人士ハ舊冬同院ノ有名ナル政府反對の決議案ニ賛成シタル議員トス加之皇帝ハ新タニ議長及副議長ヲ任免シテ是レ迄多年同院ノ議長タリシ「クロームジン」氏及副議長タリシ「ゴルーベフ」氏ハ敦レモ其職ヲ免セラレテ平ノ勅選議員トナリ其代リニ同院勅選議員「シチエグロウイー」トフ」氏ハ議長ニ而シテ同シク「レイトリヒ」氏ハ副議長ニ任セラレタリ

「クロームジン」及「ゴルーベフ」兩氏ハ同院右黨ニ屬ス

戰爭ヲ繼續スルコトニ一致スル上下兩院ニテ支持セラルヘキヲ信セント欲スルモノナリト宣セラレタルヲ以テ順序ヨリ云ヘハ議會ハ此際政府ヲ支持セサルヲ得サルヘシ乍併議會ト政府トハ前々内閣以來既ニ衝突シテ而モ其衝突ハ現内閣ニ至リテ其激甚ノ度ヲ加フルニ至リタルヲ以テ現内閣ノ大立者タル「プロトポポフ」氏カ一世ヲ聳動スル程ノ改革ヲ行ハサル限リ政府ト議會トノ衝突ハ除去セラルルコト無カルヘシ「プロトポポフ」氏ハ内務大臣ニ任セラルル前ハ下院改進黨ニ屬スル十月黨議員トシテ政府反對黨議員タリシモ内務大臣トナリテ改進黨ノ綱領ヲ無視セリ然レトモ氏ハ其後依然其席ヲ下院ニ置キテ而モ十月黨ヲ未タ脱セサリシヲ以テ此間「モスクワ」ニ開カレタル同黨本部員會議ハ同黨總理「グチコフ」氏ノ發議ニ基キ「プロトポポフ」氏ヲ十月黨ヨリ除名シタリ要スルニ内務大臣「プロトポポフ」氏ハ極端ヨリ極端ニ馳セタルノ新シキ經驗ヲ有スル人ナルヲ以テ氏ハ縱シヤ今日皇后陛下ノ御信任ヲ得テ武斷政策ヲ露國ニ必要トシツツアリトスルモ明日ハ自由策ニ出ツルノ必要ヲ認ムルニ至ルヤモ計リ難シ現ニ昨今世間ニテハ内務大臣「プロトポポフ」氏ハ猶太人ニ住居ノ自由ヲ與フ

ヘキ人ニシテ而モ穩和ナル政見ヲ有スル人ナリ兩氏ハ敏腕家ト云フヘキ人ニアラサルモ德望ヲ有シテ世人ヨリ尊敬セラル「クロームジン」氏ハ其後久シク病氣ナリシカ爲メ同氏ノ免職ハ大ナル意味無カルベキモ「ゴルーベフ」氏ノ免職ハ大ニ意味ヲ有ス「ゴルーベフ」氏免職ノ原因ハ昨冬同氏カ議長トシテ上院ノ議事ヲ開キタル際ニ同院ニ於テ政府反對的決議案カ可決セラルルニ至リタルカ爲メニシテ現ニ氏ハ其當時王村ニ參内ヲ命セラレテ譴責ヲ蒙リタリト云フ「ゴルーベフ」氏カ副議長ヲ免セラレテ平ノ勅選議員ノ列ニ數ヘラルルニ至ルヤ氏ハ間モ無ク病ト稱シテ勅選議員タルコトヲ辞スルコトニ決シテ辞表ヲ呈出シタルカ一月十七日皇帝ハ氏ニ上院勅選議員ノ職ヲ免シタリ

上院新議長「シチエグロウイー」トフ」氏ハ同院右黨總理ニシテ夙ニ保守主義ヲ鼓吹シタル名士ニシテ多年司法大臣ノ職ニ在リタリ又同院新副議長「レイトリヒ」氏モ亦同院右黨議員ニシテ故芬蘭士總督「ボブリコフ」將軍ノ幕僚トシテ芬蘭士ニ所謂圧迫政策ヲ行フコトアリタルコトヲ以テ名アリ以上議長及副議長ノ外ニ皇帝ハ本年新ニ勅選議員ヲ任命シ且又出席議員ニ更選ヲ行ヘリ此等議員ハ殆ント皆右黨ニ屬

シテ保守主義ヲ有スル人士トス斯ノ如ク上院ハ右黨議員ヲ以テ固メラルルニ至リタルヲ以テ同院ノ「ノイガルド」黨カ右黨ト提携スル場合ニハ上院ハ右黨ノ有トナルニ至ルヘシ併シ乍ラ右黨カ將來果シテ鞏固ナル組織團體トシテ活動スヘキヤ否ヤ未タ詳カナラスト雖昨今ノ形勢ヨリ之ヲ察スレハ右黨ハ鞏固ナル組織結合ノ團體トシテ行動スルニ至ルヘシ現ニ昨今上院議長「シチエグロウイトフ」氏ハ改進團ニ對シ上下兩院ニ於テ有力ナル保守團ヲ組織セントシテ兩院右黨ノ領袖株ト協議中ナリト云フ

五、暗黒曖昧無責任ノ勢力

暗黒曖昧無責任ノ勢力カ隱然國政ヲ左右シ而モ目前ニ外敵ヲ控ユルノ今日ニ於テ故意ニ露國ニ官民上下舉國一致ノ實ヲ見ルコトヲ得サラシメテ直接又ハ間接ニ敵國獨逸ノ利益ヲ計リツツアリトシテ之ヲ速カニ一掃スルヲ要ストノ主張ハ今回歐洲大戰爭開始後間モ無ク露國ノ一部人士間ニ行ハレタリト雖モ同主張ハ當時末タ一部人士間ニ止リテ國民一般ニ行ハレサリキ然ルニ輓近ニ至リテ暗黒曖昧無責任ノ勢力ヲ一掃スヘントノ說ハ殆ント國民一般ノ輿論トナルニ至レリ當初同說ニ左袒シタル者ハ政府反對黨員ノ二三ニ過キ

サリシモ其後同說ニ同意ヲ表スル者ハ次第ニ増加シ今ヤ下院議員及自治團體員ノ大多數ハ異口同音ニ同說ヲ唱フルノミナラス過半數ノ勅選議員ヨリ成レル上院議員ノ大多數及貴族聯合會員ノ多數モ亦此說ニ贊同スルニ至レリ加之府中ニモ暗黒曖昧無責任ノ勢力一掃ノ必要ヲ認ムル者少カラスト稱セラレ甚シキニ至リテハ宮内省部内ニモ之カ一掃ノ必要ヲ認ムル者無キニシモアラスト云フ然レトモ同勢力ハ宮中ニ深キ根底ヲ有シテ而モ寺院及政府部内ニ彌漫シテ行政及司法ノ外立法ニモ多大ノ影響ヲ及ホシ殊ニ大臣ノ任免ニ對シテ大ナル影響ヲ與フルヲ常トスト稱セラル現ニ前總理大臣「トレポフ」氏ハ保守主義ノ人トシテ其實現制度維持論者ニ外ナラサルヘキモ時勢ニ鑑ミ此際或點マテハ議會ノ要求ヲ容ルル必要ヲ認メテ間接ニ「プロトポポフ」氏ニ辭職ヲ促シタルモ「プロトポポフ」氏ハ敵トシテ動カスシテ反ツテ「トレポフ」氏カ自ラ辭職スルニ至リシ如キハ之カ影響ニシテ此事ヤ畢竟宮中ニ根底ヲ有スル暗黒曖昧無責任ノ勢力カ「プロトポポフ」氏ヲ支持シタルカ爲メニ外ナラスト稱セラル

斯ノ如ク暗黒曖昧無責任ノ勢力カ專横ヲ極メ來リテ而モ此

勢力ハ皇室擁護及現制度維持ノ爲メ露獨單獨平和ヲ實現セシメンコトヲ期ストノ風說其後巷間ニ傳ハルニ至ルヤ露國社會ノ各方面ニ於テハ右勢力ノ專横ヲ憤ル者多クシテ上下兩院全露地方及市代表者會議全露貴族聯合會議ハ各自ニ其決議案ヲ以テ右勢力ヲ一掃スルノ必要急務ナルコトヲ議決シタリ同決議案ハ大人心ヲ刺激シ茲ニ於テ露國ニ於テハ暗黒曖昧無責任ノ勢力ヲ根本ヨリ一掃スル爲メ最後ノ手段ニ出ツルヲ要スト主張スル者多ク其結果「ラスプーチン」ノ暗殺ヲ見ルニ至レリ「ラスプーチン」ヲ直接ニ手ヲ下シテ暗殺シタル者ハ一二少壯皇族ナルモ之カ暗殺ヲ企テタル者ハ下院議員「ブルシケイウィッチ」ナリトノ說アリ「ブルシケイウィッチ」カ皇族ヲ動カスニ至リシコトハ畢竟輿論ノ作用ニシテ換言スレハ「ブルシケイウィッチ」カ皇族ヲシテ此舉ニ出ツルニ至ラシメタルハ上下兩院ニ於テ其議員カ試ミタル演說及兩院其他ニ於テ可決セラレタル暗黒曖昧無責任ノ勢力一掃ニ關スル決議案ノ影響ニ外ナラス

斯ノ如ク「ラスプーチン」ヲ暗殺シタル者ハ皇族ナルニ加ヘ「ラスプーチン」カ内外政ニ干涉スルトノ故ヲ國民ハ一般ニ憤慨シツツアリタル際トシテ同暗殺ハ大ニ世間ニ歡迎

セラレタルカ爲メ政府ハ同暗殺事件ヲ不問ニ附シテ訴追セサルコトニ決シタリト云フ「ラスプーチン」ハ宮中ニ出入シツツアリタルカ爲メ同人暗殺セラレタリトノ報王村ニ達スルニ至ルヤ離宮ハ大混雜ニシテ現ニ是レマテ病ト稱シテ引籠リ居リタル内務大臣「プロトポポフ」氏ハ直チニ參内シテ皇后陛下ニ拜謁シ又一月一日皇帝ハ大本營ヨリ王村ニ還幸アリタリ其後「プロトポポフ」氏ハ再々參内シテ皇帝及皇后兩陛下ニ拜謁シテ暗殺ノ範圍カ次第ニ擴張スルノ危險アリトシテ之ニ對スル嚴重ナル取締ノ方法手段ニ關シ上奏スル所アリタリト稱セラル其後「プロトポポフ」氏ノ辭職問題ハ全ク消滅シテ其位置ハ堅固トナリ茲ニ於テ皇帝ハ一月二日同氏ヲ正式ニ内務大臣ニ任セラレタルコトハ既ニ前ニ記シタル通ナリ

六、「ラスプーチン」

「ラスプーチン」ハ西伯利「トボリスク」県「チュメニ」郡「ボクロフスキー」村ノ百姓ニシテ千八百七十二年生レ其少壯ノ時ニハ所業修マラサリシト云フ同人ハ全ク無教育ニシテ最初馬車曳ヲ業トシ或日其馬車ニ修道院ノ一僧ヲ乗セタル關係上同僧ト昵近トナリ夫レヨリ「ラスプーチ

ン」ハ「ウエルホツリエ」ノ修道院ニ出入シ間モ無ク「チユメニ」市ニ出テテ頭髮ヲ延ハシ全國有名ノ修道院ヲ順禮シタリ千九百三年「ペトログラード」宗教大學校長「フェドフォン」主教ハ西伯利「トボリスク」出張ノ際西伯利ニ於テ「ラスプーチン」ニ逢ヒ帰京後「ラスプーチン」ノコトヲ友人ニ話シタリト云フ千九百四年「ラスプーチン」ハ「ペトログラード」ニ來リテ右宗教大學校長及故「ヨハン、クロンスタットスキー」僧ニ面會シ此時ヨリ「ラスプーチン」ノ名ハ次第ニ社會ニ知レ渡リタリ「ラスプーチン」ハ西伯利ヨリ上京ノ途次「ツアリツイン」ニ立寄りテ「イリヤドル」及「ゲルモゲン」二僧ニ逢ヒテ深く交ヲ結ヒタリ其後「ラスプーチン」ハ一派ヲ立テテ婦人仲間ニ崇拜セラレタリ是レヨリ先キ「ラスプーチン」カ末々西伯利ニ在ル頃ニハ同人ハ郷里ノ百姓娘等ニ圍繞セラレタルカ其後上京ノ後ハ同人ハ貴婦人ニ圍繞セラレテ而モ其門徒ハ次第ニ増加ヲ來シタリ之カ爲メ「ラスプーチン」ノ所業ハ正教界ノ問題トナリ茲ニ於テ「ラスプーチン」ハ一時監視ヲ附セラレタルモ間モ無ク同人ニ對スル嫌疑ハ解クルニ至レリ然ルニ千九百九年「ラスプーチン」カ堂々ト一派ヲ立テ

テ大ナル勢力ヲ有スルニ至ルヤ同人ハ「イリヤドル」及「ゲルモゲン」二僧ト仇敵ノ關係トナリテ二僧ハ之カ爲メニ拘引セラルルニ至レリ此時ヨリ「ラスプーチン」ハ世間ニ有名トナリタルト同時ニ同人ノ舉動ハ世ノ問題トナリタリ千九百十年露都ノ諸新聞ハ「ラスプーチン」排斥ノ記事ヲ掲ケ其結果時ノ總理大臣「ストルイピン」氏ハ前年一時「ラスプーチン」ノ奇蹟ヲ信シタリシコトアリシニモ拘ラス「ラスプーチン」ヲ「ペトログラード」ヨリ放逐シタリ其後二年間「ラスプーチン」ハ上京スルヲ得サリシモ同人ヲ崇拜スル者等ハ同人ニ退京ヲ命スルノ理由無シトシテ同人ニ上京ヲ許スコトニ付キ運動スル所アリタリ茲ニ於テ千九百十一年冬「ラスプーチン」ハ再ヒ上京シ其後同人ハ宮中ニ出入シテ而モ皇帝陛下ノ唯一ノ顧問ト稱セラルル皇后陛下ニ接近シ其時ヨリ「ラスプーチン」ハ國政ニ嚆ヲ容ルル者ナリトシテ世間ヨリ非難攻撃ヲ受クルコトナリタリ千九百十二年第三議會ニ於テ十月黨總理「クチコフ」氏ハ「ラスプーチン」攻撃ノ演說ヲナシ其後氏ハ再ヒ同人攻撃ノ演說ヲナシタリ千九百十四年「ラスプーチン」ハ西伯利ニ帰省中「チユメニ」ニ於テ婦人「グセワ」ナル者ノ爲メ

ニ暗殺セラレントシテ負傷シタリ「ラスプーチン」ハ全快後直チニ「ペトログラード」ニ歸リ此時ヨリ宮中ニ偉大ノ勢力ヲ得ルニ至リタリト云フ從ツテ同人ヲ崇拜シ又ハ同人ヲ經テ諸種ノ目的ヲ達セントシテ同人ニ近ク者頗ル多カリキ其事ノ真偽ハ未タ之ヲ確ムルニ由無キモ世評ニ依レハ「ラスプーチン」ヲ經テ要職ヲ得タル者頗ル多クシテ世人ハ其氏名ヲ數ヘ此内ニハ前總理大臣「スチュルメル」、現内務大臣「プロトポポフ」、「ペトログラード」大主教「ブチリム」諸氏ノ名アリ以上世評ハ必スシモ全部事實ニアラサルヘキモ多少何等カノ根據アルモノト認メテ可ナルヘシ畢竟スルニ斯ノ如キ世評ハ「ラスプーチン」カ皇后陛下ニ接近シタルノ事實アリシコトニ淵源シタルモノニ外ナラス「ラスプーチン」カ皇后陛下ニ接近シテ同陛下カ「ラスプーチン」ヲ近ケ給フニ至リタル理由ニ關シテ世ニ善惡二様ノ解釈アリ善キ意味ノ解釈ハ「ラスプーチン」カ皇太子ノ御病氣ヲ其祈リニテ全快ニ至ラシメタリト云フコトニシテ皇后陛下ハ皇太子御全快ヲ以テ「ラスプーチン」ノ賜ナリト信シ給フト云フ此故ニ同陛下ハ「ラスプーチン」ヲ信仰シテ同人ニ信頼シ給ヘリト稱セラル然レトモ惡シキ意

味ノ解釈ハ所謂内事關係ニシテ此解釈ニハ容易ニ信シ難キ点少カラス以上二解釈ノ何レニシテモ皇后陛下カ「ラスプーチン」ヲ信シテ近ケ給ヒタルコトハ事實ナリスノ如ク皇后陛下カ「ラスプーチン」ヲ近ケ給ヘルヲ以テ同陛下ト「ラスプーチン」トノ周圍即チ宮中内部ニハ隠然一勢力組織セラレテ而モ此勢力ハ所謂暗黒曖昧無責任ノ勢力トナリテ國政ニ多大ノ影響ヲ及ホスニ至リタリ「ラスプーチン」ハ同勢力ノ代表者ヲ以テ世ニ目セラレタルヲ以テ其後「ラスプーチン」カ親獨派ト結托シテ露獨單獨平和運動中ナリトノ風説アルニ至ルヤ國民ノ多數ハ大ニ憤慨シテ皇后陛下ヲ恨ミ且又同陛下カ「ラスプーチン」ヲ近ケ給フト云フ慨嘆スルヲ常トシタリ殊ニ上流貴族婦人一團ハ皇后陛下カ「ラスプーチン」ヲ近ケ給フト云フ憤慨シテ前農務大臣「ワシリチコフ」公ノ夫人ハ此間右一團ヲ代表シテ皇后陛下ニ直諫狀ヲ上リタリト云フ之カ爲メ同夫人ハ皇后陛下ヨリ左遷セラレテ公爵主人ト共ニ「ペトログラード」ヲ去リ戰爭終局ヲ告クルマテ地方郷里ニ住スルコトナリタリスノ如ク露國々民ハ一般ニ暗黒曖昧無責任ノ勢力ノ專横ヲ憤慨シテ之ヲ一掃スルヲ必要トシ而シテ此事ヤ國論トナルニ

至リタルヲ以テ近來ニ至リ一二皇族モ亦此國論ヲ是認シテ國民ト共ニ右勢力一掃ヲ必要トスルニ至レリ此事ヤ現ニ皇族カ「ラスプーチン」ヲ暗殺シタルコトヲ以テ之ヲ證スルニ足レリ「ラスプーチン」暗殺ハ大公「アレキサンドル、ミハイロウィッチ」親王ノ王女「イリナ、アレキサンドロウナ」内親王ノ嫁シ居ラルル「ユスーポフ」公ノ邸ニ行ハレタリ同邸ハ皇族ノ御縁家トシテ貴顯上流紳士貴女ノ集會セラルル家トシテ有名ナルヲ以テ近年高貴ノ家ニ出入スル「ラスプーチン」ハ夙ニ「ユスーポフ」家ニ出入スルコトヲ自ラ希望シ居リタリト稱セラルル此故ニ暗殺ノ主謀者ハ皇族中ニ所謂獨逸派ト「スラブ」派トノ二アル關係上「スラブ」派ニ屬スル少壯皇族ヲ動カシテ獨逸派ト共ニ單獨平和ノ爲メニ運動シツツアリト世ニ稱セラルル「ラスプーチン」ヲ「ユスーポフ」家ニ招カシメテ以テ同人ヲ暗殺セシムルコトヲ豫メ謀リタリト云フ如上「ラスプーチン」ハ常ニ「ユスーポフ」邸ニ出入スルコトヲ自ラ希望シ居リタルヲ以テ同人ハ豫テ暗殺ノ企アルコトヲ知り居リタルカ爲メ自身ニテモ大ニ警戒シツツアリタリト云フト雖モ同邸ヨリノ夜會ノ招待ナレハ直チニ之ヲ受ケテ何ノ警戒モ無ク深夜

ニ關シ訓令下リ居リタル際ナルヲ以テ是レコソ「ラスプーチン」ノ行衛不明ニ關係アルニ相違無シトシテ搜索ヲ始メタルモ同日ハ何モ發見スル所無カリキ茲ニ於テ翌一月一日水上警察ハ更ニ搜索ヲ始メ其結果遂ニ「ラスプーチン」ノ死體ヲ發見スルヲ得タリ

「ラスプーチン」暗殺ニ直接關係シタル者ハ大公「ドミトリ、パウローウィッチ」親王ノ外「ユスーポフ」公（大公「アレキサンドル、ミハイロウィッチ」親王ノ娘婿）其他ニシテ大公「ミハイル、ミハイロウィッチ」親王モ亦其席ニ在リタリト稱セラルル以上暗殺ニ關係シタル諸皇族ハ左遷ノ意味ヲ以テ戰爭カ終局ヲ告クルニ至ルマテ或ハ高架斯或ハ其他ノ地方ヘ遷サレタリト云フ

「ラスプーチン」ニ關シテハ是レマテ諸種ノ風説アリテ或ハ「ラスプーチン」自身カ暗黒曖昧無責任ノ勢力ノ主體ナリト云ヒ或ハ「ラスプーチン」ハ單ニ同勢力ノ主體ノ機關ニ外ナラスト云ヒ諸説紛々ナリト雖同人ハ宮中ニ出入シテ同勢力ヲ表面ニ代表シタリ「ラスプーチン」カ宮中ニ出入スルコトハ皇帝之ヲ内心ニ喜ハレストノ説アレトモ又一説ニ依レハ皇帝陛下モ亦皇后陛下ト同シク御病氣ナリシ皇太

迎ヘノ自動車ニテ同邸ニ趣キタル次第ナリト云フ「ユスーポフ」邸ニ於テハ同夜小宴會アリテ來賓散會スルニ至ルヤ同邸ノ一室ニ於テ暗殺企圖者等ハ「ラスプーチン」ニ告クルニ予等ハ汝ヲ處刑ノ目的ヲ以テ今夜招待シタルナリ汝ハ須ラク此「ビストル」ヲ以テ自殺ヲ遂クヘシトシテ同人ニ「ビストル」ヲ授ケタルニ「ラスプーチン」ハ之ニ對シ自若トシテ罵詈ノ言ヲ放チタルヲ以テ大公「ドミトリ、パウローウィッチ」親王ハ自己ノ「ビストル」ヲ以テ直チニ「ラスプーチン」ヲ狙撃シ同時ニ左右ヨリ同人ヲ狙撃シテ死ニ致シタリト云フ「ラスプーチン」ノ死體ハ同夜直チニ自動車ニテ「ネワ」河支流岸ヘ運ヒ橋下ノ氷穴ニ沈メタリ是レヨリ先キ十二月三十日夜「ラスプーチン」カ自宅ヲ出テテ「ユスーポフ」邸ニ赴キ翌三十一日マテ帰宅セサルヤ同人ノ家族ハ大ニ心配シテ直チニ此事ヲ其筋ニ通知シタリ茲ニ於テ警察ハ命令ヲ四方ニ下シテ搜索ヲ命ジタリ然ルニ三十一日或勞働者ハ「ネワ」支流岸ヲ通行ノ際橋麓ニ「ゴム」上履ノ片側遺棄シアリテ且又橋下ノ雪ノ上ニ怪シキ往來ノ足跡アルコトヲ發見シテ此事ヲ水上警察ニ届出テタリ此時警察ニテハ既ニ「ラスプーチン」ノ行衛不明

子ハ「ラスプーチン」ノ祈禱ノ結果全快セラレテ而モ「ラスプーチン」カ祈禱ヲ上ル間ハ皇太子ハ御健全ナリトシテ「ラスプーチン」ヲ信仰シ居リ給ヘリト稱セラル

露都新聞ハ「ラスプーチン」暗殺後二日間同人ノコトヲ其紙面ニ記載シタルモ其後同人ニ關スル記事ハ一切之ヲ新聞紙ニ掲クルコトヲ禁セラレタリ故ヲ以テ「ラスプーチン」ニ關スル其後ノ事情ヲ詳カニスルヲ得スト雖同人ノ遺體ハ王村皇室直轄ノ「フェオドロフスキー」寺院本堂内ニ葬ラレタリト稱セラル要之「ラスプーチン」カ匹夫下賤ノ身ヲ以テ西伯利ヨリ出テテ貴顯貴婦人間ニ一種ノ救世主トシテ崇拜セラレテ而モ宮中ニ出入シタルコトハ明白ナル事實ナリ

七、歐洲戰爭ト露國々民

今回ノ歐洲大戰爭ノ大目的ハ英佛諸國ニ在リテハ一ニ獨逸ヲ屈伏セシムルニ在ルヲ以テ總テ其國民ハ主義政見ノ如何ヲ問ハス此大目的ノ爲メニ一致シ之カ爲メ右諸國ニテハ容易ニ官民上下舉國一致内閣ノ組織ヲ見ルニ至リタリト雖露國ハ其性狀右諸國ト趣ヲ異ニシテ而モ其戰爭ノ目的ハ啻ニ獨逸ヲ屈伏セシムルコトニ止ラスシテ他ニ在リテ存スルノミナラス露國々民ノ一部ニハ自己ノ利益ノ爲メ又ハ内政關

係上獨逸ヲ屈伏セシメテ之ヲ第二流以下ノ國トスルコトヲ欲セサル者無シトセス之カ爲メ露國ニハ官民上下舉國一致内閣ノ實現ヲ見ルコトハ大ニ困難ナリ然レトモ政府モ又國民モ既ニ内外ニ向ツテ此戰爭ヲ官民上下舉國一致ノ戰爭ナリト聲明シタルノ關係アルノミナラス今日ニ於テハ兎モ角戰爭ニ反對セハ他ヨリ國賊視セラレテ排斥セラルルノ形勢ナルヲ以テ内心ニ戰爭ヲ欲セサル所謂親獨派人士ト雖口ニハ主戰說ヲ唱ヘテ伯林ヲ陥レテ後ニ平和條約ヲ締結スヘシト揚言シツツアリ斯ル次第ニテ露國中ニハ其本音ヲ吐カサル者アルノ嫌アルヲ以テ歐洲戰爭ニ對スル露國々民ノ考ハ外人ニハ容易ニ詳カナラサルナリ然レトモ此戰爭ニ對スル露國々民ノ考ハ之ヲ大別スレハ一、現制度ヲ改メテ獨逸ヲ屈伏セシメ二、獨逸ヲ屈伏セシムヘキモ現制度ハ之ヲ改ムヘカラス三、現制度維持ノ爲メニハ獨逸ヲ屈伏セシムルコトハ不可ナリトノ三者ノ一ニ歸着ス

現制度ヲ改メテ獨逸ヲ屈伏セシムヘシトノ考ヲ有スル者ハ露國々民ノ多數ニシテ現ニ下院ノ多數黨ハ公ケニ此意見ヲ表示シツツアリ獨逸ヲ屈伏セシムヘキモ現制ハ之ヲ改ムヘカラストノ考ヲ有スル者ハ多ク官僚ニシテ政府ハ此意見ニ

與セリ尤モ當局者ハ獨逸ヲ屈伏セシメテ戰後ニ至リテ内政ヲ改革シテ可ナルモ戰爭中ハ専ラ戰爭ノ爲メニ力ヲ集中スルヲ要スト主張スルモ此主張ハ寧ロ口實ニシテ其實現制度ヲ打破スルコトニ反對ノ意味ヲ含メリ尤モ此内ニハ戰後ニ多少ノ改革ヲ眞ニ必要ナリトスル者アルヘキヤ勿論ナリ現制度維持ノ爲メニハ獨逸ヲ屈伏セシムルコト不可ナリトノ考ヲ有スル者ハ獨逸露三帝神聖同盟ノ再現ヲ希望スル親獨主義保守派人士ナリト雖斯ル意見ヲ今日公ケニ唱フルニ至レハ世間ヨリ國賊視セラレテ直ニ危害ヲ蒙ルノ憂アルヲ以テ何人モ此意見ヲ口ニセサルナリ以上三意見ノ外ニ露國ノ現制度打破ヲ希望スル者ノ中ニハ露國カ此戰爭ニ負ケテ一時無政府ノ狀態ニ陥ルコトヲ希フノ危險分子無キニシモアラサレトモ同分子ハ未タ大ナル勢力ヲ有スルニ至ラス斯ノ如ク露國ニ於テハ歐洲戰爭ニ付キ國民ノ目的カ一ニ止マラスシテ而モ其意見カ一致スルコト無キヲ以テ縱シヤ此戰爭ハ其名ハ國民的ナリト雖國民的ノ實無シ之カ爲メ到ル所ニ欲陷ヲ生シ現ニ其後漸ク戰線ニ於テ兵器彈藥ノ不足カ補充セラルルニ至リタルモ今ヤ背後ニ糧食欠乏シテ糧食難ハ露國刻下ノ一大問題トナルニ至レリ斯ル狀態ナルヲ以テ

今ヤ露國愛國家ヲシテ此狀態ニテハ戰勝ノ見込ハ更ニ無シトノ嘆息ノ聲ヲ發セシムルニ至レリ露國カ右ノ狀態ニ陥ルベキコトハ「ゴレムイキン」内閣時代ニ既ニ明白ナリシヲ以テ時ノ農務大臣「クリウオセイ」氏等ハ上下兩院改進黨ノ要求ノ一部ヲ容ルルコトヲ主張シタルモ總理ハ之ニ反對シタルヲ以テ氏等ハ其職ヲ辭シタリ然ルニ其後内閣ハ議會ト衝突シテ「ゴレムイキン」氏ハ其職ヲ去リ「スチュルメル」氏總理トナリタルモ議會ハ「スチュルメル」内閣ト衝突シテ「トレポフ」氏代リテ總理トナリタリ乍併「トレポフ」總理ハ間モ無ク其職ヲ辭シテ今ヤ「ゴリツイン」公總理トナリタリ新總理ハ未タ其施政方針ヲ公ケニスルニ至ラス新總理ハ其經歷ヨリスレハ現制度ヲ改メテ獨逸ヲ屈伏セシムヘシトノ意見ニハ全然反對ノ人ニシテ獨逸ヲ屈伏セシムヘキモ現制度ハ之ヲ改ムヘカラストノ意見カ又ハ現制度維持ノ爲メニハ獨逸ヲ屈伏セシムルコトハ不可ナリトノ意見カ何レカ此二意見ノ一ニ左袒スル人ニ外ナラサルヘシト雖新總理大臣「ゴリツイン」公カ其就職後間モ無ク新聞記者ヲ引見シテ同記者ニ語リタル所ヲ以テスレハ刻下ノ急務ハ一ニ戰爭ニシテ改革ハ戰後ノ問題ナリトアルヲ以テ公ハ獨逸

ハ之ヲ屈伏セシムヘキモ戰時中ニ現制度ハ之ヲ改ムヘカラストノ意見ヲ有スル人ニ外ナラサルヘシ戰爭ハ第一ニシテ内政改革ハ戰後ノ問題ナリト暗號ハ啗ニ誠意誠心ニ戰後ニ至リテ内政ノ改革ヲ斷行スルヲ欲スル者ニ使用セラルルノミナラス又戰後ニ之カ改革ヲ欲セスシテ其實現制度ノ維持ヲ欲スル者ニモ使用セラレ要スルニ同暗號ハ濫用セラレツツアルヲ以テ同暗號ヲロニスル人士ヲ以テ直ニ一概ニ内政改革論者ナリトスルハ大ナル誤ナリ之カ爲メ露國々民ハ政府カ同暗號ヲロニスルノミニテハ不満足ニシテ國民代表者等ハ露國カ獨逸ニ對シ勝利ヲ制セントスルニ第一ニ露國ニ改革必要ニシテ此改革無クンハ露國ハ持久策ヲ以テシテモ獨逸ニ對シ勝利ヲ制シ得サルノ危險アリトセリ然レトモ内政改革ハ官僚ノ爲メニハ不利益ナルヲ以テ官僚ハ露國カ戰爭中ニ改革ヲ行フコトハ露國將來ノ爲メニ危險ニシテ之カ爲メ煩ヲ皇室ニ及ホシ以テ皇室ヲ不安ナラシムヘシトシテ極力之ニ反對シツツアリト云フ尤モ官僚中ニハ自己ノ利益ハ之ヲ度外ニ置キ戰時中民論ヲ容レテ改革ヲ行フコトカ實際ニ國家及「ロマノフ」家ノ爲メニ危險ナリトノ意見ヲ有スル人士少カラサルト同時ニ此意見ニ多少ノ眞理含マレ

居ルヤ勿論ナリ

要之露國ニ於テハ歐洲戰爭ハ全國民的ナルモ之ニ關聯シテ内政ニ對スル國民ノ意見一致セスシテ政府ハ議會ト衝突シ此事ヤ戰線及背後ニ多大ノ惡影響ヲ及ホシツツアリ之カ爲メ露國ニ於テハ戰後ニハ勿論又場合ニ依リテハ戰爭中ニ内亂發生セストモ保シ難シ戰爭中ノ内亂ハ歐洲戰爭ニ大ナル影響ヲ及ホスモノニシテ露國ハ親獨派ノ希望通り内亂鎮定ヲ名トシテ戰爭ヲ中止スルノ已ムヲ得サルニ至ルヤモ計リ難シ然レトモ又反對ニ内亂ノ結果トシテ民黨勢力ヲ得テ露國ニ舉國一致内閣ノ組織ヲ見ルニ至リテ之カ爲メ露國ハ戰爭ヲ何年間モ繼續シテ持久策ヲ以テ獨逸ヲ屈伏セシムルニ至ルヤモ亦知ルヘカラサルナリ昨今民間ニ行ハルル風説ニ依レハ今日ノ形勢ニテハ露國カ獨逸ト單獨平和ヲ締結スルコトハ到底不可能ニシテ親獨派カ之ヲ締結スルノ目的ヲ達スルヲ得ヘキ場合ハ國民カ生活困難ノ餘リ平和ヲ叫ヒ出ス時カ又ハ戰爭中内亂發生シテ之ヲ鎮壓スルノ必要アル時カ何レカ此二場合ノ一ノ外無キヲ以テ親獨派ハ隱然一方ニ於テハ故意ニ生活ヲ困難ナラシムルノ方法ヲ講シツツアルト同時ニ又他方ニハ國民ノ要求ヲ斥ケテ故意ニ内亂ヲ挑發ス

リ以上ハ皆露国労働者ニシテ外国労働者ハ未タ之ニ与カラサル為メ支那人労働者多数ヲ占ムル当地ニ於テハ未タ大事ニ至ラサル次第ニ有之候然ルニ是等労働者側動搖ノ機運ヲ利用シテ平生自由主義ヲ持スルノ徒隱謀ヲ企テントスルノ計画アリ事態稍重大ヲ加ヘントスル傾向機微ノ間ニ窺知セラルルニ至リ候右隱謀トハ市街焼打ノ計画ニシテ革命党ニ關係アル知識階級ニ屬スル露国人数十名昨年九月以来当市東北端「ラボーチアヤ、スラボーツカ」ニ密会ヲ催シ夫ノ千九百五年ニ於ケル隱謀ノ例ニ倣ヒ焼打事件ヲ再演セント

ルノ策ニ出テツツアリト云フト雖此風説ハ未タ之ヲ確ムルニ由無シ

註 右ハ上田書記官ノ調査ナリ

三八六 二月三日 在浦潮坪上総領事代理ヨリ
本野外務大臣宛

浦潮ニ於ケル民心動搖及革命的陰謀計画二関

スル件

機密第七号 (二月十九日接受)

大正六年二月三日

在浦潮斯德總領事代理 坪内貞二(印)

外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

客年十月中当地海軍工廠職工ノ同盟罷工アリ当局ニ於テ一部ヲ解雇シ一部ハ勞銀一割五分ノ減給ヲナシ幸ニシテ復工セシメタルモ他方面ニモ多少ノ關係アルヤニテ一番川ニ於ケル官設貨車組立工場ノ如キ多少ノ残工事アリタルニ拘ハラス旧臘末ヲ以テ急遽閉鎖スルノ已ムヲ得サルニ会シタルカ如ク尚時局柄經濟上ノ圧迫ニ基ク生活ノ不安ハ益其度ヲ加ヘ本年初頭ニ於テハ馬車屋ノ罷業アリ市役所ニ於テハ賃銀値上許可ノ要求ヲ容レタル為メ事ナキヲ得タルノ有様ナ

企画中第三回目ノ会合ノ際突然警察官ニ包囲セラレ三十三名就縛陸軍監獄ニ拘禁セラレタルカ軍法會議ニ於テ重刑ニ処セラルル等ナリシモ之レナクシテ直ニ釈放セラルルニ至リシハ全ク其余党ノ勃起ヲ予防センカ為メノ政略ニ外ナラサリシカ如シ右隱謀カ全露國ニ於ケル革命運動ト連絡ヲ保チ居ルヤ否ヤハ不明ニ候モ当地方民心動搖ノ一端ヲ証スルニ足ルモノト被認候ニ付為御參考報告申進候 敬具